

日本共产党 厚木市議員団ニュース

2016年9月1605号

議員団HP <http://jcptatsugi.blog.shinobi.jp>

今週の活動から

8月27日(土)、すみよい厚木のまちづくりを考える会の学習会(裏面)がアミューズであります。そこでは市のいろいろなイベントが。のぞいてみました。

夏休みこどもロボット体験フェアでは、ロボットを操作して対決バトルをしたり、ネズミ型やテントウ虫型のロボットを作り動かしたりと、夏休み中の子どもたちが大勢参加していました。

介護ロボットも展示していて、アミューズに来た大人も立ち寄って体験していました。
(釘丸久子議員)

5階のギャラリーでは、圏央道・新東名高速道路パネル展が行われていました。昨年、全線開通した圏央道の一部であるさがみ縦貫道路と、平成32年度に全線開通を予定している新東名高速道路の写真が展示され、説明が書いてありました。道路建設により移転したり、田畠を提供したりと生活の変わった人もたくさんいます。

(栗山香代子議員)



法人市民税の一部国税化で、2億8千万円の減収 消費税10%では8億7千万円にも

厚木市議会
9月定例会議
8月30日～10月5日

平成28年厚木市議会第4回会議(9月定例会議)が8月30日に始まりました。前年度の決算を審議する9月議会は決算議会ともいわれます。

本会議初日は、決算に基づく厚木市健全化判断比率や資金不足比率、下依知の住居表示に伴う条例の整理など、7件の報告、議案は委員会付託を省略する教育委員(2名)と農業委員(13名)の任命、平成27年度各会計の決算、条例の一部改正、工事請負契約の締結、市道の廃止と認定、今年度の補正予算の35件。また、請願1件、陳情3件が出されました。初日の主な質疑を紹介します。

平成27年度決算に基づく厚木市健全化判断比率について

釘丸久子議員 健全化判断比率は平成19年度から始まつたものだが、これは一つの基準である。実態を知るために他の方法があるのではないか。財務部長 財政状況により年度で増減はあるが取り立てて大きな変動はない。あくまでも指標の一つ。経常収支、起債額など総合的に判断する。

釘丸議員 法人税の一部国税化の影響はどのくらいか。

財務部長 27年度は2億8千万円程度。28年度は6億6千万円の影響があると想定。消費税が10%になればさらに8億7000万円の影響が出てくる。

釘丸議員 企業誘致条例が新規で適用されたのは6社で前年より増えた。市税と雇用、財政への影響はどうか。

財務部長 固定資産税の減免対象は14人とみている。対象は正規雇用と限らないが、市としては事業者に對して正規での雇用をお願いしている。ほかに取引等の波及効果が大きいと期待している。

厚木市の財政力指数の推移(平成21年度～27年度)		
	単年度	3年平均
21年度	1.455	1.439
22	1.110	1.316
23	1.110	1.225
24	1.063	1.094
25	1.079	1.084
26	1.087	1.076
27	1.109	1.092

この他に、決算議案の説明を監査でなく市長がすることの根拠や、法人事案件を除き、提出された議案および請願・陳情は各常任委員会で審議されます。それらの審議を経て、10月5日の本会議最終日には、常任委員会の報告の後に、各会派が賛成・反対討論をし、採決となります。

釘丸議員 財政力指数の向上の要因は、厚木市は基準財政需要額・収入額の関係で、国から交付金がこない不交付団体である。厚木市が潤沢にお金があるということではなく、国の制度なので致し方ない。市の財政が厳しい中で、何とかやりくりをしている。

平成27年度決算

釘丸議員 財政力指数の向上の要因は、厚木市は基準財政需

厚木市健全化判断比率の推移(%)

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
19年度	▲6.33	▲11.76	5.7	63.5
20年度	▲4.15	▲8.58	5.7	55.8
21年度	▲4.58	▲8.78	5.2	54.0
22年度	▲2.75	▲7.45	4.6	58.6
23年度	▲3.07	▲8.25	3.7	61.7
24年度	▲2.58	▲9.42	3.1	56.8
25年度	▲3.93	▲9.50	2.8	54.0
26年度	▲5.46	▲8.96	2.5	64.8
27年度	▲8.35	▲13.13	2.7	58.2
早期健全化基準	11.36	16.36	25.0	350.0